



# 令和3年社会生活基本調査の結果について

茨城県政策企画部統計課 人口労働グループ

## 1 令和3年社会生活基本調査について

社会生活基本調査は、1日の生活時間の配分及び1年間の自由時間における主な生活行動（「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」）について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的とするものです。

社会生活基本調査は、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、令和3年の調査は10回目に当たります。

### ◆ 1日の生活時間の配分の調査時期

1日の生活時間の配分は、令和3年10月16日から24日までのうち調査区ごとに指定された2日間（生活時間の指定日）について調査した結果です。この時期は、新型コロナウイルス感染症がいわゆる第5波として拡大した後、各地に順次発令されていた「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」等が令和3年9月末をもって全ての地域で解除された直後となっています。

### ◆ 1年間の主な生活行動の調査時期

1年間の主な生活行動は、令和2年10月20日から令和3年10月19日までの過去1年間の自由時間において該当する行動を行った状況について調査した結果です。この時期は、2回の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を含んだ期間となっています。

## 2 生活時間に関する結果

### (1) 1日の生活時間の配分

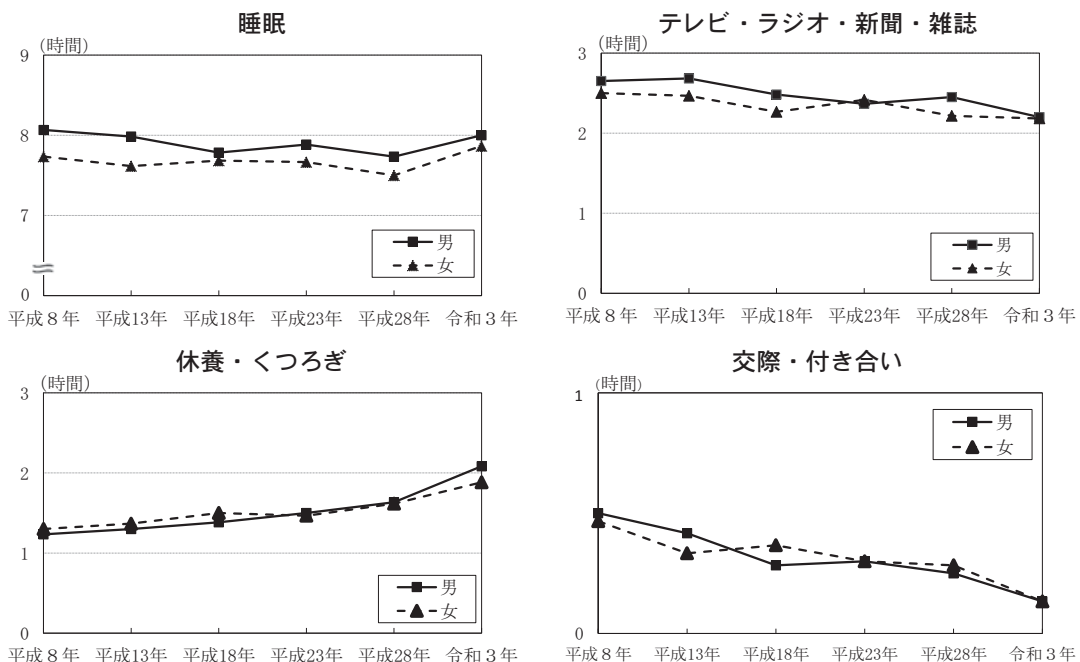
○平成28年と比べ休養・くつろぎの時間は21分の増加

○減少傾向で推移していた睡眠時間が増加に転じる

本県に住んでいる10歳以上の人について、行動の種類別に週全体平均による1日の生活時間をみると、睡眠時間が7時間56分、仕事時間が3時間29分、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の時間が2時間12分などとなっています。

主な行動の種類について、過去25年間の推移をみると、休養・くつろぎの時間はおおむね増加傾向となっています。一方、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、交際・付き合いなどの時間は減少傾向となっています。また、睡眠時間については減少傾向で推移していましたが、令和3年は増加に転じました。

男女、主な行動の種類別生活時間（平成8年～令和3年）－週全体



## 統計の窓

### (2) 仕事時間

#### ○5年前に比べ男性の仕事時間は22分の減少、女性は11分の増加

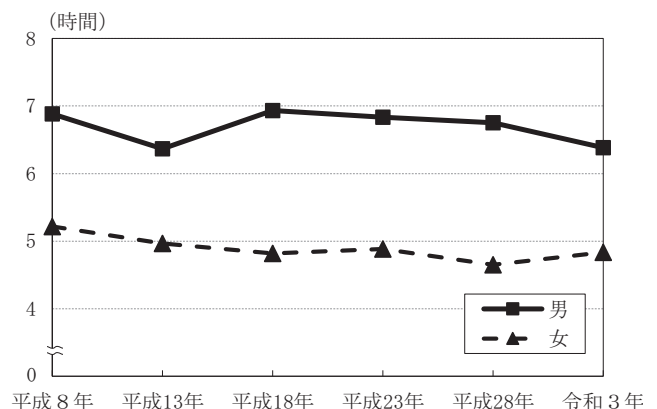
本県の有業者（15歳以上）の仕事時間についてみると、男性が6時間23分、女性が4時間50分と男性が女性に比べ1時間33分長くなっています。

平成28年と比べると、男性は22分減少したのに対し女性は11分の増加となり、男性と女性の仕事時間の差が大きく縮小しました。過去25年間の仕事時間の推移を男女別にみると、平成8年に比べ、男性は30分の減少、女性は23分の減少となっており、男女共に減少傾向となっています。

男女別仕事時間の推移  
(平成8年～令和3年) 一週全体、有業者

	茨城県		全国	
	男	女	男	女
平成8年	6.53	5.13	7.00	5.11
平成13年	6.22	4.58	6.48	4.51
平成18年	6.56	4.49	7.00	5.00
平成23年	6.50	4.53	6.56	4.50
平成28年	6.45	4.39	6.49	4.47
令和3年	6.23	4.50	6.27	4.42

男女別仕事時間の推移  
(平成8年～令和3年) 一週全体、有業者



### 3 生活行動に関する結果

#### (1) 平成28年と比べた行動者率

○「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は36.5%で、平成28年と比べて2.3ポイント上昇

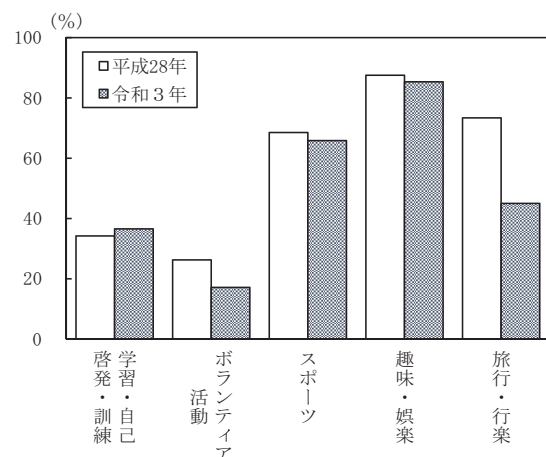
○「ボランティア活動」「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」の行動者率は低下

「学習・自己啓発・訓練」「ボランティア活動」「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」について、行動者率（過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日）にその活動を行った人の割合）を平成28年と比べると、「学習・自己啓発・訓練」は上昇した一方で、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」、「旅行・行楽」は低下しました。「旅行・行楽」の行動者率は45.0%で、28.4ポイントの大幅な低下となりました。

各生活行動の行動者率（平成28年、令和3年）

	行動者率（%、ポイント）		
	平成28年	令和3年	増減
学習・自己啓発・訓練	34.2	36.5	2.3
ボランティア活動	26.2	17.1	△9.1
スポーツ	68.5	65.8	△2.7
趣味・娯楽	87.5	85.3	△2.2
旅行・行楽	73.4	45.0	△28.4

各生活行動の行動者率（平成28年、令和3年）





(2) 全国と比べた茨城県の行動者率

○茨城県は、「サッカー（フットサルを含む）」及び「バドミントン」の行動者率が全国 3 位

茨城県の「スポーツ」の行動者率は65.8%で、全国平均を0.7ポイント下回りました。種別別行動者率の全国順位をみると、「サッカー（フットサルを含む）」（全国 3 位）、「バドミントン」（3 位）、「サイクリング」（5 位）、「ゴルフ（練習場を含む）」（6 位）などが高い順位となりました。

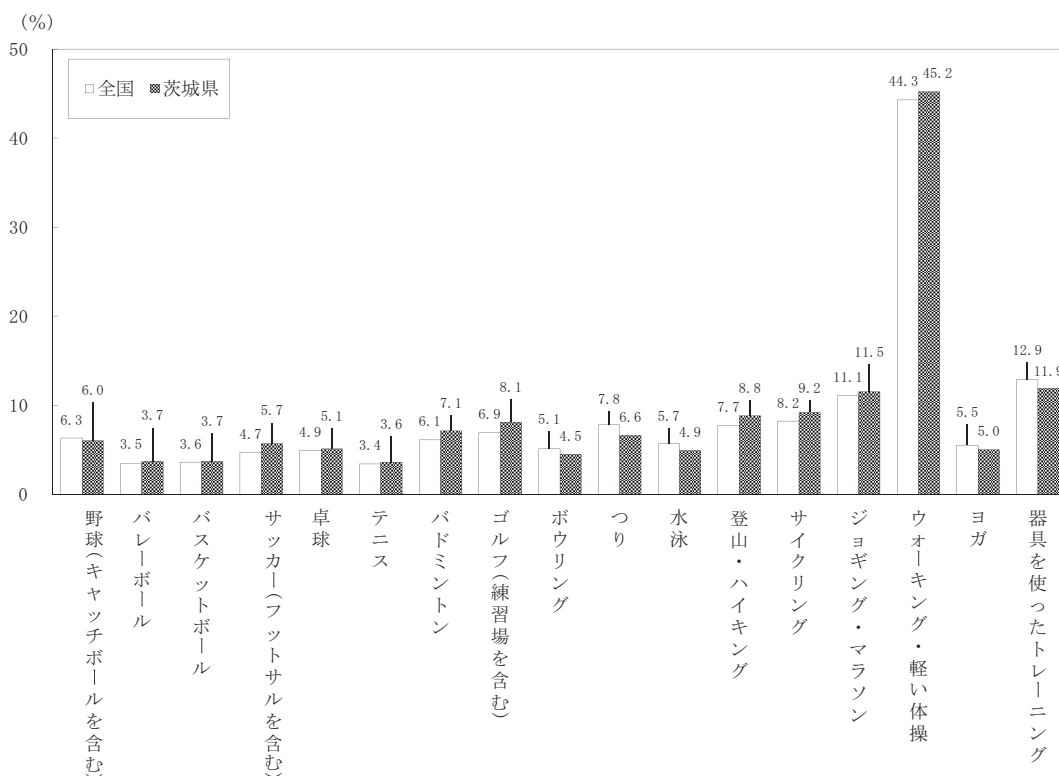
「スポーツ」の種別別行動者率（全国・茨城県）及び茨城県の全国順位（令和 3 年）

	総 数	野 球 (キャッチ ボールを 含む)	バレー ボール	バスケット ボ ール	サッカー (フットサル を含む)	卓 球	テニス	バドミ ント	ゴルフ (練習場 を含む)
全国	66.5	6.3	3.5	3.6	4.7	4.9	3.4	6.1	6.9
茨城県	65.8	6.0	3.7	3.7	5.7	5.1	3.6	7.1	8.1
順位	14	21	22	21	3	9	12	3	6

	ボウリング	つ り	水 泳	登 山・ ハイキング	サイク リング	ジョギング ・マラソン	ウ オ ー キング・ 軽い体操	ヨ ガ	器 具 を た っ ト レ ー ニ ン グ
全国	5.1	7.8	5.7	7.7	8.2	11.1	44.3	5.5	12.9
茨城県	4.5	6.6	4.9	8.8	9.2	11.5	45.2	5.0	11.9
順位	26	40	23	7	5	7	7	14	20

「スポーツ」の種別別行動者率（全国・茨城県、令和 3 年）



注) 「スポーツ」の種類は男女総数の行動者率が3.5%以上の種類を表章

○茨城県は、「日曜大工」の行動者率が全国2位、「園芸・庭いじり・ガーデニング」の行動者率が全国3位

茨城県の「趣味・娯楽」の行動者率は85.3%で、全国平均を1.0ポイント下回りました。種別別行動者率の全国順位をみると、「日曜大工」（全国2位）、「園芸・庭いじり・ガーデニング」（3位）、「写真の撮影・プリント」（7位）などが高い順位となりました。

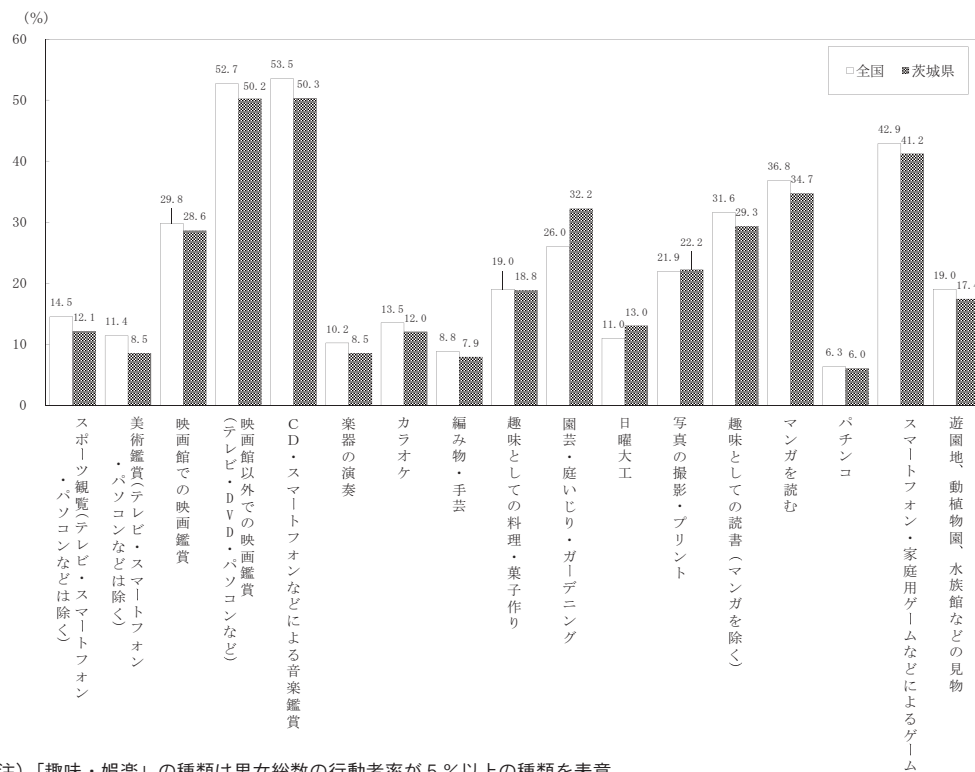
「趣味・娯楽」の種別別行動者率（全国・茨城県）及び茨城県の全国順位（令和3年） (%)

	総数	スポーツ観戦(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	美術鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	映画館での映画鑑賞	映画館以外の映画鑑賞(DVD・パソコンなど)	CD・スマートフォンによる音楽鑑賞	楽器の演奏	カラオケ	編み物・手芸
全国	86.3	14.5	11.4	29.8	52.7	53.5	10.2	13.5	8.8
茨城県	85.3	12.1	8.5	28.6	50.2	50.3	8.5	12.0	7.9
順位	15	38	41	16	16	18	27	35	35

(%)

	趣味としての料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	写真の撮影・プリント	趣味としての読書(マンガを除く)	マンガを読む	パチンコ	スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム	遊園地、動物園、水族館などの見物
全国	19.0	26.0	11.0	21.9	31.6	36.8	6.3	42.9	19.0
茨城県	18.8	32.2	13.0	22.2	29.3	34.7	6.0	41.2	17.4
順位	14	3	2	7	13	19	32	17	15

「趣味・娯楽」の種別別行動者率（全国・茨城県、令和3年）



注) 「趣味・娯楽」の種類は男女総数の行動者率が5%以上の種類を表章

◎この調査結果は、県ホームページ「いばらき統計情報ネットワーク」  
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/syakai/syakaichor3/index.html>  
 に掲載しています。